



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和4年11月14日(月) 発行 第7号 特別号

『中野中 開校10周年記念式典』

校長 田代 雅規

11月5日(土)に開校10周年記念式典を挙げる事ができました。



第1部は、記念式典を実施し、国歌斉唱(CD)のあと、校長式辞、来賓祝辞、目録贈呈、来賓紹介、代表生徒挨拶、校歌斉唱を行いました。

■校長式辞



中野中学校は、中野区の学校再編により平成24年4月に第九中学校と中央中学校の2校が統合して誕生しました。校舎は、第九中学校の旧校舎でスタートし、2年後の平成26年には中央中の跡地に新校舎が完成し、全校生徒が引っ越しました。

新校舎は、中野区で初めての人工芝のグラウンドや冷暖房完備の体育館、屋内温水プールのある素晴らしい施設となりました。

本校は、開校以来読書活動に力を入れてきました。本校の校章も多数の応募作品の中から主体的な学びの基礎となる読書、その象徴としての本のフォルムを基調として作られました。新校舎の学校図書館は、開放的で日当たりもよく、休み時間には多くの生徒が現在も読書活動を楽しんでいます。

本校は、恵まれた環境の中で、人権教育やボランティア活動、職場体験等、地域の方々のお力もお借りしながら、生徒の自主性を生かした学校行事や委員会活動に常に新しい方法を取り入れ、教職員が一体となって取り組んできました。これからも中野中の生徒たちには、コミュニケーションを大切にして、他者と協働して課題を解決できる人になってほしいと願い教育活動を行ってまいります。(一部省略)

■ 来賓祝辞



中野区長・酒井様



中野区議会議長・内川様



中野区教育長・入野様

ご来賓の祝辞の後、開校10周年実行委員会の委員長の増田様より、ご挨拶をいただき、その後、今回の10周年に向けて、整備していただいたものを目録として生徒代表に贈呈されました。

<目録>

- 2階・3階・4階自習室机・椅子
- 生徒通学路役所側桜5本
校庭西側に桜1本と梅1本の植樹
- 校庭中庭植樹及び休憩用ベンチ
4台
- 10周年記念かばん、記念ファイル、地域の応援団編集記念誌



2階ブース形式自習室



3階 学習室兼自習室



4階グループ学習用自習室



中庭・ベンチ



中庭・花壇



賞状展示ケース



体育館・壁面緑化



校庭・梅・桜植樹



通学路・桜植樹

■代表生徒 挨拶

近藤 博仁さん（3年）

中野中学校開校 10 周年というこの記念すべき日に在校生代表として挨拶させていただくことを光栄に思います。

10 周年にあたり、まず地域の皆様に心よりお礼申し上げます。今年、中野中学校には大きな変化がいくつもありました。生徒の皆さんはよく知っていると思います。

まずは、自習室です。私たち生徒は自習室ができたことで、授業時間外に使える集中しやすい環境で学習に取り組むことができるようになりました。次に中庭と花壇です。休み時間にはベンチで心地よい空間を満喫しています。

花壇には、これから美しい花が咲くと聞いています。学校の前には桜や梅の木が植樹されました。今はまだ小さな木ですが、これからの中野中を見守ってくれるはずですよ。こうした変化は、地域の皆様のご尽力のお陰です。生徒を代表してお礼申し上げます。

私は、今回 10 周年にあたり、中野中の卒業生の方とお話する機会をいただきました。生徒の皆さんはコロナ以前の中野中の運動会を知っていますか。中野中の卒業生であり、現在はサッカー一部のコーチである大城さんから伺ったところ「部活動対抗リレー」という種目があったそうです。水泳部は全員水着で走ったり、サッカー部はボールでリフティングをしながら走ったり、吹奏楽部は楽器をもって走ったりしたそうです。今では、この競技はありませんが、代わりに新しく「風船割り」や「おじゃま玉入れ」などの競技があります。

一見、運動会の内容は変わってしまったように思えますが、私たちは今も昔も変わらないものがあると思います。それは、中野中の「今」を全力で盛り上げ、楽しもうとする気持ちです。

「部活動対抗リレー」には、学校全体で行事に参加する各部活動の個性を出し、より面白い競技にするという思いが、「おじゃま玉入れ」には様々な制約がある中でも皆が参加できる楽しい競技にしようという思いが詰まっています。

中野中は、中野中に関わる皆で創り上げているのだと感じました。現在、私たちは新型コロナウイルスの感染に注意しながら学校生活を送っています。コロナ禍の中野中では、行事の縮小や変更が相次ぎました。先日の合唱コンクールは、3年ぶりとなり生徒の誰もが以前の合唱コンクールの姿を知らない中、合唱練習が始まりました。本番は、マスクをつけたままで歌ったため思うように歌えない人もいたのではないのでしょうか。今までできていたことが、先輩方からつないできたことができない。つないできたことが途絶えてしまう状況に直面しました。

しかし、私たちは諦めない気持ちをもって進んでいます。「今だからこそできること」「工夫して楽しむこと」逆境をバネに私たち中野中生は毎日を笑顔で過ごしています。

十年、もしくはもっと以前から受け継がれてきたものを引き継ぎ、同時に新しいことに挑戦する。私たちが中野中の新たな伝統を生み出し、そして次の世代につないでいきます。

これから先、中野中には喜びや悲しみ、栄光と挫折など、そんな言葉だけでは表せないようなドラマが生まれるでしょう。その中でも中野中の笑顔が重なり、つながっていくことを願っています。



日が昇る 新しい都会（まち）に 讃えよ 讃えよ 誇れる仲間たち 中野中学 わが母校

第2部は、生徒のアトラクションを中心に行いました。

休憩時間を利用して、中野中学校10年間の歴史を動画で紹介しました。学校の様子は、ドローンで撮影した映像を利用しました。先生方や生徒のインタビューも交えた楽しい動画でした。

生徒の発表は、最初は吹奏楽部の記念演奏でした。みんなの手拍子もあり、楽しい演奏でした。



吹奏楽部は、「西遊記～天竺への道」「宝島」の2曲を演奏しました。「宝島」の演奏には、福本先生、鈴木先生、平林先生も参加しました。

その後は、3年生の有志を中心としたK-POPダンスとブレイクダンスを発表しました。



K-POPダンスは、「I CAN'T STOP ME」と「YES OR YES」を6人で踊り、次に「LOVE SICK GIRLS」を4人で踊りました。夏休みからみんなで練習しました。



ブレイクダンスは、最初は和太鼓の演奏で始まりました。

一人一人が登場するメイキング動画も紹介し、会場を盛り上げました。

3年生を中心に9人のメンバーで夏休みから練習しました。全員揃いのTシャツを着てかっこよく踊りました。

Tシャツは、木舟先生がデザインしました。



第3部は小平奈緒さんによる記念講演を行いました。

「つながり」をテーマに、多くの視点で話していただきました。生徒を含め会場に集まった参観者の方からは、「新しい学びを得た講演でした」「考え方がとても魅力的で、私もそういう心で過ごしていきたいです」「講演が終わった後、力がみなぎりました」などの感想がありました。

講演後に副校長が結城匡啓コーチを紹介。小平さんのために一緒に長野から来ていただきました。



■ 校長による講師紹介

小平奈緒さんは長野県茅野市のご出身で、豊平小学校、茅野北部中学校、伊那西高校、信州大学教育学部をご卒業、11月1日に母校信州大学の特任教授に就任されました。中学2年の時に全日本ジュニア選手権スプリント総合部門で優勝し、「スーパー中学生」と呼ばれました。

高校3年生の時にはインターハイの500mと1000mの2冠。大学時代にはインカレ500mで4連覇を達成し、大学2年生の時に全日本距離別選手権の1000mで初優勝してワールドカップデビューを果たしました。大学3年生の時にユニバーシアード1500mで優勝し、卒業後は相澤病院の支援を受け信州大学教育学部を拠点に活動継続しました。バンクーバー五輪を経験した後、2014年から2016年の2年間、練習拠点をオランダに移して研鑽を積み、帰国後のシーズンから2年半、負けなしの37連勝を記録。平昌五輪では日本女子スピードスケート初の金メダルを獲得されました。そして10月22日の全日本距離別選手権を最後に現役を引退されました。

今回中野中開校10周年にあたり小平さんに記念講演をお願いした理由は、教育目標にある「英知の風かおり」「精励の志つねに」にある、高い目標をもって勉強やスポーツに力を発揮している人であること、「友愛の情ふかく」は何よりも人を大切にしてほしいという願いであり、平昌五輪でのイ・サンファ選手とのお話から分かるように、小平さんが相手を尊重し人を大切にする人であること。そして、今回の周年にあたり地域の方々大変お世話になりました。何より地元や地域の方を大切にする人であること、これらのことを考えた時に、小平さんが最高の人であると考えたからです。

また中野中の生徒は小学校から軽井沢の施設を利用し、中学でも1年生の移動教室や2年生のスキー教室で大変お世話になっています。長野県とはつながりが強いということで、小平さんの講演を依頼するにあたり、長野県人会の五味様、北原様には大変お世話になりました。それではよろしく願いいたします。



■ 講演後の生徒の質問

● 質問1 井澤 颯斗さん(2年)

小平さんは信州大学で特任教授をされているということなんですが、今こうやって大勢の中学生の前で話してみた率直な感想と、オリンピックなどさまざまな舞台で活躍された小平さんでもまた別の緊張があったのかなということについて聞かせてください。

●質問2 森本 健太さん（2年）

小平さんは選手時代に小麦を食べないなど節制されていましたが、引退された今、選手の時にできなかったことを3つ教えてください。

●質問3 富田 恋さん（2年）

「知るを楽しむ」という言葉に興味をもちました。この言葉について詳しく教えてください。

●質問4 小澤 知将さん（3年）

受験まであと3か月ぐらいでプレッシャーを感じています。緊張を克服する方法を教えてください。



小平さんの回答もどれも素敵で、会場の皆さんも大きく頷く場面が多々ありました。3年生への回答では「緊張する、ドキドキするっていうことは全身にエネルギーがみなぎっていること」「それをエネルギーに変えてとにかく突進してみてください！」と、前向きな応援もいただきました。

■嘉山 耀大さんのお礼の言葉

小平奈緒さん、今日は中野中学校に来て下さりありがとうございました。大変貴重な体験をさせていただきました。今日のことは中野中学校生の思い出の中に強く刻まれると思います。私は先日テレビで小平選手のラストランを拝見しました。おめでとうございます。そして本当にお疲れさまでした。

地元で優勝して選手として活動を締めくくれるというのは小平奈緒さんのファンの方々も小平さん自身もよかったのではないかなと思います。今日の講演で一番心に残っているのは「友だちをつくる」ということです。私も受験まで4カ月5カ月しかないのですが、その中で緊張しているのですが、友だちをつかって競い合うというのは緊張をほぐすのにも、競い合って今まで以上の結果を出せることにもつながると思います。今日話して下さったことを活かしていきたいと思います。とても充実した時間であり、とても楽しい時間でした。それでは小平奈緒さんにお礼を言いたいと思います。生徒のみなさん起立してください。せーの。「ありがとうございました」



■テープの滝（写真左）

講演会終了後にサプライズで装飾系のボランティア生徒が夏休みから作成したテープの滝を披露しました。2.5 cmの紙テープを300本以上作りました。「小平奈緒さん ありがとう 中野中一同」の文字になるように全部計算して作りました。

小平さんが、最後のレースの37秒のために夏からトレーニングすると聞いて、装飾係も1秒のために夏休みから1・2年生の有志8人で全部作りました。文字が見えるようにテープをつなぎ合わせたため、1本作るのに最初は1時間以上かかりました。



■花道を作ったの退場（写真右）

全員で花道をつくり、小平さんを送りました。



小平奈緒さんへ
中野中で素敵な講演を
してくださり、**ありがとう**
ございました。



■記念撮影

最後は、体育館で小平さんと生徒全員の記念撮影を行いました。

